

社会実験「箱根白浜ガイドツアー」を実施

箱根・芦ノ湖の南岸沿いを走る県道 737 号の一部区間で通行規制し、自然が残る静かな「白浜」の活用と新しいアクセス方法を検証する社会実験として、電動マウンテンバイク(E-MTB)によるガイドツアーを行いました。11 月 14 日～16 日の 3 日間で 8 回開催し、延べ 41 名と多くの方にご参加いただき、白浜の魅力を体感していただきました。



■ なぜ社会実験？ —— 安全に白浜を楽しむために

白浜につながる県道 737 号は湖畔の道幅が狭い道路で、釣り客の路上駐車等により歩行者が安心して歩けない課題がありました。また、県道 737 号の先にある芦ノ湖岸の白浜は、観光地箱根の中でも静けさが残る散策スポットですが、利用者は釣り客等に限定されており、その活用も課題となっていました。

今回の社会実験では、

- ・ 県道 737 号の一部区間の通行規制
- ・ 誘導看板による駐車場への誘導
- ・ 自転車など“自動車以外のアクセス手段”の検討

を行い、県道 737 号における車両・歩行者等の安全性向上、白浜をより安全に快適に楽しめる環境を探ることが目的です。

社会実験の実施エリア



▲県道737号の通行規制区間

社会実験の案内看板



通行規制区間を E-MTB で走行

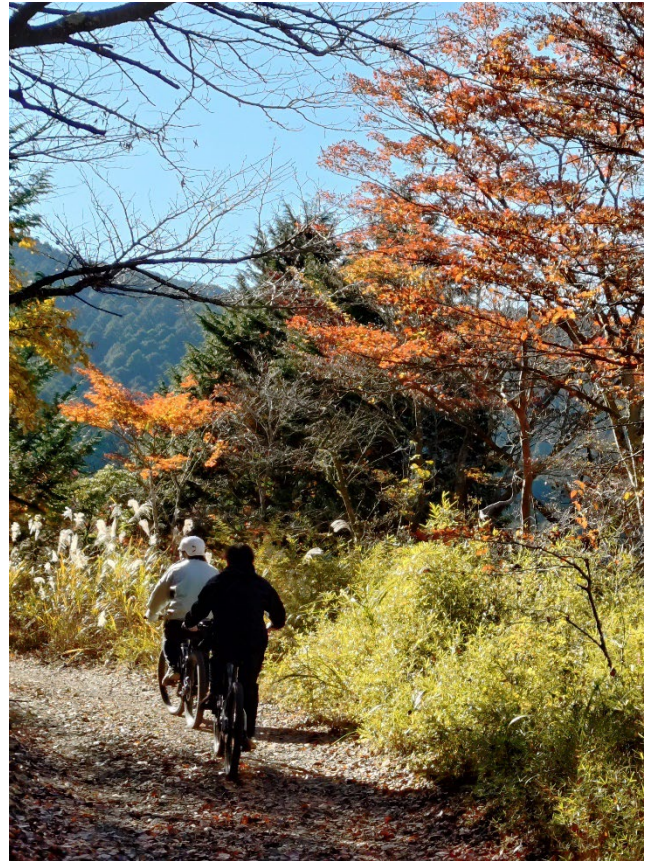


■ 白浜ガイドツアーを実施！

社会実験期間中は、箱根のガイド事業者「ハコネマウンテンリッパー」と連携し、国立公園オフィシャルパートナーであるヤマハ製の E-MTB を使用して、白浜へのガイドツアーを開催しました。

参加者は、知人からの勧めや現地で直接案内を受けた方が半数以上で、外国の方も 6 名参加されました。

箱根駅伝ミュージアム前に集合し、ガイドの鈴木さんからレクチャーを受けた後、自然豊かな森の中を抜け、白浜まで気持ちのよいサイクリングを楽しみました。



途中、駒形神社や石畳の旧街道に立ち寄ったり、自生するクロモジなど箱根の多様な植物を五感で感じたりするなど箱根のことをより深く知るきっかけになったことも好評でした。



アンケートでは、ツアー全体の満足度が約 90%以上と高評価。
「初めて E-MTB に乗れて楽しかった」「白浜の景色が素晴らしかった」といった声も寄せられました。

■人気の“秋の白浜”

また、ツアーに最適な時期については、最も多かった回答が「秋」。
ちょうど紅葉の時期と重なり、参加者の皆さんは美しい湖畔の景色を満喫していました。



■ 白浜でひと息。お茶を楽しむティータイムも好評

白浜に到着後は、湖を眺めながらのティータイム。
箱根産のクロモジで作られた香り豊かなハーブティーなどを楽しみながら、参加者同士の
会話も弾みました。

アンケートでは、
「白浜での休憩がとても良かった」
「自然を感じながらゆっくりできた」
といったコメントが寄せられました。



■ 参加者の多くが“また来たい”“もっと歩きたい”

ツアー全体を通して、参加者の皆さんが白浜の魅力を再発見するきっかけになったようです。また、約 8 割の方が「白浜で開催される清掃イベントに参加したい」と回答。自然を楽しむ体験を通じて、環境保全への関心が高まったことがうかがえます。

■ 今回の実験を受けて—白浜をより安全で魅力的な場所へ

今回の社会実験では、通行規制・案内看板・サイクリングツアーの組み合わせにより、

- ・ 県道 737 号の安全性向上の可能性
- ・ 自動車以外のアクセス手段のニーズ
- ・ 参加者の満足度と自然環境への関心の高さ

など、今後の施策につながる多くの示唆が得られました。

白浜の自然がこれからも守られ、訪れる人に感動を与えるとともに、地域住民にも親しまれる「上質な利用空間」になるよう、地域のみなさまと協力しながら取り組みを進めていきたいと思っています。

